

～ 自主防犯団体の活動について ～

戦後最悪の治安状況と言われた平成14年における千葉県の実刑判決件数は、168,366件でした。その後、治安は回復傾向を示し、令和4年には、32,728件と平成14年の5分の1程度にまで減少しています。

この減少の大きな要因と考えられているのが、自主防犯の力です。

地域住民の方々が行うパトロールや児童を見守る行動は、不審者を発見しようとする目が増えることにより、犯罪を企てている者に犯行を思い止まらせる効果があります。

茂原市内には、自主防犯に取り組む自主防犯団体が数多く存在し、「犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちづくり」に貢献していますが、この度、次の2団体が、自主防犯団体の登録をし、活動していただけることとなりましたので、ご紹介させていただきます。

【郡界橋通りパトロール隊】

団体の結成は、今年の夏ですが、代表者は、個人ボランティアとして、15年の長きにわたり二宮小学校（旧二宮小学校の時代から現在まで）児童の見守りを行ってきました。

今後は団体として、緑ヶ丘リゾーンから押日ランドまでの間（郡界橋通り）の二宮小学校通学路において、下校中の児童を不審者から守ることを目的とした見守り活動と交通事故防止のための指導・誘導を行っていくこととしています。

この団体が、児童を引率する姿は、地域の日常の風景になっており、途中で合流する家族の姿が、不審者への抑止力を高めています。また、通学路沿いの工務店やセブンイレブンも、児童のトイレ使用を快く承諾するなど、安全・安心な下校をバックアップしています。



集団下校の日は1回、学年により下校時間が異なる日には、下校時間ごとに、児童を引率しての見守りを行う。



交通量が多い茂原街道の横断は、特に気を遣う。児童を安全に横断させつつ、円滑な車両通行にも配慮して指導・誘導を行う。

【二宮八つの里防犯パトロール隊】

令和3年4月、それまでの二宮小学校と緑ヶ丘小学校が統合され、新しい二宮小学校が誕生し、旧二宮小学校周辺の児童は、新しく設定された通学路を使い、通学することになりました。

それまで20年にも及び旧二宮小学校児童の見守り活動を行ってきた方が、これを契機に、新通学路における児童を引率しての見守り活動を行ってきましたが、この度、通学路の安全性を高めるために、草刈りをして環境整備に努めてきた方と共に、団体を結成し、今後は、相互に協力して、通学路上での児童の安全を守る活動に取り組んでいくこととなりました。

団体名称に用いられている「八つの里」は、二宮地区の「国府関・真名・山崎・押日・黒戸・庄吉・芦網・緑ヶ丘」の8つ地域を意味しており、地域の力で子どもを守っていききたいとの思いが込められています。



放置すれば児童の姿を隠し、不審者の潜伏が容易になる草地。新学期に間に合うように、8月の炎天下に草刈りが行われた。



草刈りが行われた通学路を引率され下校する児童。
引率は登校時にも行われる。



交差点等の交通要所では、周囲の交通状況に応じ、タイミングよく児童の誘導を行う。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505 (月～金 8:30～17:15)